



国土交通省東北地方整備局

Tohoku Regional Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表

平成30年3月27日
桑折町
福島河川国道事務所

こおり
「桑折地区かわまちづくり登録証伝達式」を行います。
～献上桃の郷グリーンツーリズム(訪れる人々と地域との活動交流拠点)を目指して～

○平成30年3月26日付で、桑折町の「こおり桃源郷」と阿武隈川を軸にまちとかわを結ぶ多様な交流活動を展開する「桑折地区かわまちづくり」が、国土交通省かわまちづくり支援制度に登録されたことに伴い、登録証伝達式を行います。

◆「桑折地区かわまちづくり登録証伝達式」

- ・日時：平成30年3月29日(木) 11時30分～12時予定
- ・会場：桑折町役場 1階応接室 (伊達郡桑折町字東大隅18番地)
- ・出席者：桑折町長、東北地方整備局 河川部長

◆桑折町が申請した「かわまちづくり」計画に基づき、国土交通省では同地区において、地域と連携したにぎわいのある水辺空間を創出し、桑折町の進める魅力あるまちづくりを支援します。

◆「かわまちづくり支援制度の登録」については、国土交通省、東北地方整備局においても記者発表を行っています。

国土交通省記者発表：

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000066.html

東北地方整備局記者発表：

http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/69302_1.pdf

≪発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ≫

< 問い合わせ先 >

桑折町 地域整備課

TEL 024-582-2127(直通)

地域整備課長 菅野 泰央

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

TEL 024-546-4331(代表)

副所長(河川) 佐藤 勝美(内線 204)

工務第一課長 佐藤 浩治(内線 311)

こおり
「桑折地区かわまちづくり」(国土交通省、桑折町)
こおりまち

ふくしまけん こおりまち
市町村名：福島県 桑折町
あぶくまがわ あぶくまがわ
対象河川：阿武隈川水系 阿武隈川

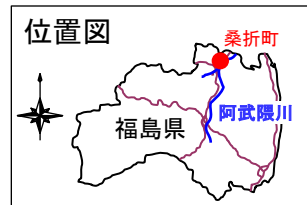
1. 概要

桑折町では、町の活性化を図るため「桑折町歴史的風致維持向上計画」を策定し、重点区域として「阿武隈川氾濫原と果樹栽培にみる歴史的風致(阿武隈川と桃源郷)」を位置付け、まちとの周遊型イベントの支援や周遊ルート環境整備を推進するほか、桃源郷と隣接した農業振興活動拠点施設の整備を核としたまちづくりを進めている。

本計画では、「献上桃の郷・グリーンツーリズム」をテーマに、これらのまちづくりと連携し、阿武隈川沿川の桃源郷をフィールドとしたウォーキングやサイクリング、カヌー活動等の良好な水辺空間を創出し地域の活性化を推進します。

2. 整備内容

(国)親水護岸、高水敷整正、管理用通路、坂路等
(町)多目的広場、展望スペース、ベンチ、サイン等



かわまちづくり支援制度 ～良好なまち空間と水辺空間の形成～

参考①

河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指します。

【 支援制度による支援 】

＜ソフト対策＞

優良事例等に関する情報提供のほか、河川敷のイベント施設やオープンカフェの設置等、地域のニーズに対応した河川敷地の多様な利用を可能とする「都市・地域再生等利用区域」の指定等を支援

＜ハード支援＞

治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援

【 活用例 】



管理用通路をフットパスとして活用
(最上川/長井市)



水辺のオープンカフェ
(那珂川/福岡市)

【 申請に関する手順フロー 】

